

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 11 月 18 日 (2021.11.18)

【公開番号】特開 2020-71416 (P2020-71416A)  
 【公開日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-018  
 【出願番号】特願 2018-206385 (P2018-206385)  
 【国際特許分類】

G 0 2 B 27/02 (2006.01)

G 0 2 B 5/32 (2006.01)

H 0 4 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 27/02 Z

G 0 2 B 5/32

H 0 4 N 5/64 5 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 5 日 (2021.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像光生成装置から出射された画像光の光路に沿って、  
 正のパワーを有する第 1 光学部と、  
 第 1 回折素子を有し、正のパワーを有する第 2 光学部と、  
 正のパワーを有する第 3 光学部と、  
 第 2 回折素子を有し、正のパワーを有する第 4 光学部と、を備え、  
 前記第 1 回折素子が前記画像光を回折させる第 1 回折角は、前記第 2 回折素子が前記画像光を回折させる第 2 回折角とは異なり、

前記光路において、前記第 1 光学部と前記第 4 光学部との間に、前記第 2 回折素子に対する前記画像光の入射角度を補正する補正光学系が設けられる

ことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記第 2 回折角は、前記第 1 回折角より大きい

ことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記光路上において、前記補正光学系は、前記第 2 光学部と前記第 3 光学部との間に設けられる

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記補正光学系は、前記第 1 回折素子により分散された前記画像光を偏向する

ことを特徴とする請求項 3 に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記光路上において、前記補正光学系は、前記第 2 光学部と前記第 1 光学部との間に設けられる

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の表示装置。

## 【請求項 6】

前記補正光学系は、前記第 1 回折素子に対する前記画像光の入射角度を変化させることを特徴とする請求項 5 に記載の表示装置。

## 【請求項 7】

前記補正光学系はプリズムで構成されることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の表示装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

上記課題を解決するために、本発明の一態様に係る表示装置は、画像光生成装置から出射された画像光の光路に沿って、正のパワーを有する第 1 光学部と、第 1 回折素子を有し、正のパワーを有する第 2 光学部と、正のパワーを有する第 3 光学部と、第 2 回折素子を有し、正のパワーを有する第 4 光学部と、を備え、前記第 1 回折素子が前記画像光を回折させる第 1 回折角は、前記第 2 回折素子が前記画像光を回折させる第 2 回折角とは異なり、前記光路において、前記第 1 光学部と前記第 4 光学部との間に、前記第 2 回折素子に対する前記画像光の入射角度を補正する補正光学系が設けられることを特徴とする。